



ふちえ

《本校の教育目標》

よく考え進んで実行する子
なかよく助け合う子
心も体もきたえる子

足立区立洲江小学校

《洲江小ホームページ》

足立区立洲江小学校

検索



～ 頭→体→心 で分かる ～

校長 向山 敦子

今年度も3月を迎え、締めくくりの時期となりました。「当たり前のことを当たり前にする」そのために「あ・い・う・え・お」を大切にしていきたいとスタートしてこの1年。様々な学校生活の中で子供たちは大きく成長してきました。本校の教育活動に多大なるご理解・ご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

今年度最後に、「分かる」ということについてお知らせしたいと思います。これはお世話になった校長先生に教えていただいたことです。子供たちには7月の校長室だよりで一度知らせています。

さて、「分かる」とはどういうことだと思われますか？今まで分からなかったことが分かるようになる。「あっ!そうか!」「なるほど!」「分かった!」そんな時はとてもうれしいです。学校は「分かるようになる」ためにあるのです。

では、「分かる」とはどういうことでしょうか?「分かる」には、3段階あります。第1段階は「頭で分かる」ということです。第2段階は「体で分かる」ということです。そして、第3段階は「心で分かる」ということです。

まず、あいさつについて考えてみます。あいさつが大切なのは誰でも分かっています。みんな、「頭でわかっている」のです。そして、実際にあいさつをしている人は、「体で分かる」ようになったのです。さらに、「あいさつをすると気持ちがいいな」と思えるようになった人は、「心で分かる」ようになった人なのです。そうすると、気持ちのよいあいさつができるようになります。スポーツも同じです。例えば、野球でどうすれば上手になるか、監督やコーチに教えてもらいます。「なるほど、そうか。」と思います。これは、「頭で分かる」ということです。そして、一生懸命練習してできるようになる。これが「体で分かる」です。さらに、がんばることや努力することの大切さを本当に自分で感じることができたとき、「心で分かった」といえるのです。

この3つの段階は、国語や算数の学習でも同じです。漢字や計算ができるようになる。これは「頭で分かった」ということです。知識として分かったことが毎日の生活の中でも使えるようになる。それが、「体で分かった」ということです。そして、いろいろな勉強をして、学ぶことの大切さと楽しさが分かり、人として正しい見方や考え方ができるようになる。これが「心で分かった」ということなのです。

「頭で分かる」だけでなく、「体で分かる」人に。そして、「心で分かる」ことのできる人になれるよう教職員一丸となって指導してきました。これは、来年度から本格実施の新学習指導要領の改訂ポイントでもあります。

私たちは目先の「小数の計算ができるようになった」「わりざんが計算できるようになった」と学習成果を喜びます。子供たちも、できるようになったことで満足感を得ます。しかし、実はそれだけで満足してはならないのです。その先にある、真の「分かる」に結びつけていきたいものです。

この1年を振り返り、お子様の成長はいかがでしたでしょうか。洲江の子供たちはいかがでしたでしょうか。学校としてもしっかり振り返りをし、令和2年度につなげていきたいと思っています。

令和2年度も「笑顔あふれる洲江小」「地域自慢の洲江小」を目指し、進化していきます。今後ともどうぞご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

